

もちつき

町会からお借りした白と杵が園に届くと「これ何?」「知っているよ。もちつきでしょ!」と、職員が白と杵を洗っているのを傍で見て、当日を楽しみにしていました。

当日は、みんなで「よいしょ! よいしょ!」と掛け声を合わせて、もちつきをして、楽しいひとときを過ごしました。

保護者の方も参加くださりありがとうございました。



米とぎのお手伝いをしました



前日の給食前にうみ組のみなさんに米とぎの手伝いを
お願いすると、「猫の手で優しくそっと」と、米とぎの仕方を
経験から気づき、1粒のお米も無駄にしないよう丁寧にしてくれました。



一日かけてしっかりと水を吸わせます

もちつきの前に

うみ組は、エプロンや三角巾を付け「もちつき頑張るぞ!」の気持ちいっぱい
に園庭に集まりました。すると、ほし組も興味を示してやってきました。

もち米が蒸しあがるまでに、道具の名前の説明をすると「こっち知っているよ!」「白!」とみんなで大きな声で答えていました。



もちつきの始まりです

炊き上がったお米を見ると「米のにおいと同じだね」「いい匂い」「食べたい!」と、湯気に顔を近づけ体いっぱい吸い込んでいるようです。

地域協力者の方に、お餅は、もち米はついていくことで、変化することを教えて頂き、保護者の方と一緒にもちつきをしました。

もち米が炊き上がると「よいしょ!よいしょ!」の掛け声もリズムよく、もちつきが始まります。



クラスごと順番にもちつき体験をしました。杵を手にするると「重たい!」「思ったより重たくない」「なんかドキドキする」と興奮気味に話し、もち米が餅に変化していく様子に「どろっとしてきた」「触ってみたい」と思いを友達と伝えあっていました。

地域協力者の方が仕上げをして、「とてもいいお餅ができたよ」と伝えてくださると「やった」と大盛り上がりです。この後、うみ組のみんなで鏡餅作りをしました。



鏡餅を作りました
飾ってください



第二園舎にも持っていきました

ほし組もお餅に触ってみると「こんなにくっつくの!」とびっくりしていました。

